

平成26年(2014年)10月の結果 (二人以上の世帯)

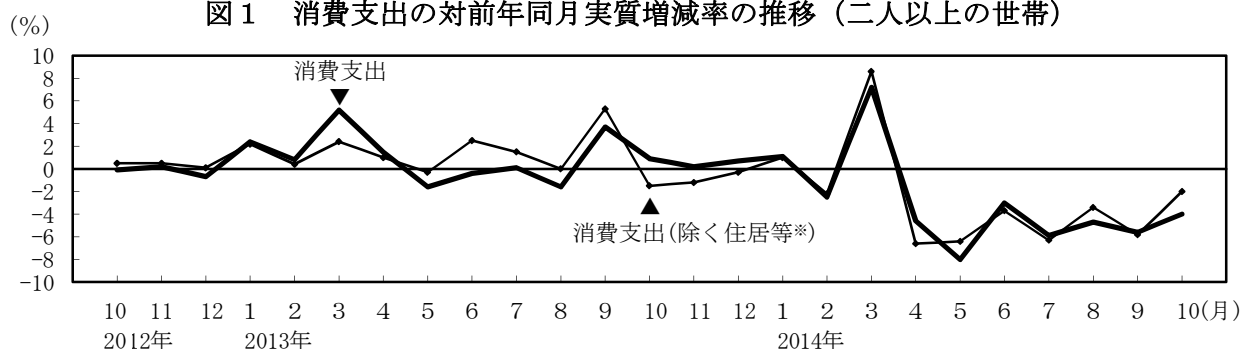
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 288,579 円		
前年同月比	実質 4.0%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.9%の増加
	名目 0.7%の減少		
・消費支出(除く住居等※)は、	1世帯当たり 247,246 円		
前年同月比	実質 2.0%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.3%の増加
	名目 1.3%の増加		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 488,273 円		
前年同月比	実質 2.1%の減少		
	名目 1.2%の増加		

※:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

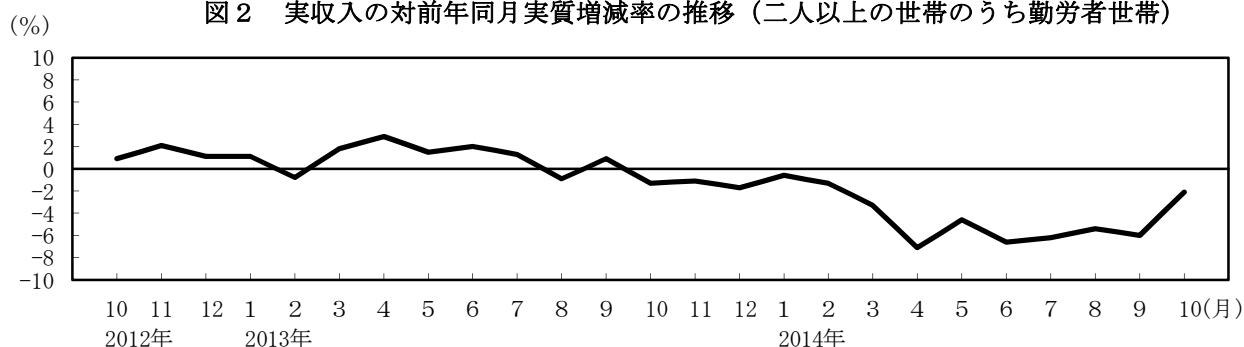
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2013年			2014年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費支出	0.9	0.2	0.7	1.1	-2.5	7.2	-4.6	-8.0	-3.0	-5.9	-4.7	-5.6	-4.0
消費支出(除く住居等※)	-1.5	-1.2	-0.3	1.0	-2.2	8.6	-6.6	-6.4	-3.7	-6.3	-3.4	-5.8	-2.0

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2013年			2014年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実収入	-1.3	-1.1	-1.7	-0.6	-1.3	-3.3	-7.1	-4.6	-6.6	-6.2	-5.4	-6.0	-2.1
可処分所得	-1.4	-1.4	-2.1	-0.5	-1.3	-3.2	-7.0	-3.4	-8.0	-5.2	-5.2	-5.9	-2.4
消費支出	-1.0	-1.6	-2.3	-0.2	-3.2	7.5	-6.9	-8.8	-4.5	-3.6	-6.0	-7.3	-3.4
平均消費性向*	0.3	-0.2	-0.1	0.3	-1.6	10.6	0.1	-5.4	1.9	1.2	-0.6	-1.4	-0.8

*: 対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2014年10月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	288,579	-0.7	-4.0	-		7か月連続の実質減少
食 料	69,656	2.3	-1.4	-0.34	<減 少> 魚介類, 外食など	7か月連続の実質減少
住 居	18,021	-11.3	-12.5	-0.88	<減 少> 設備修繕・維持	4か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	20,220	3.4	-1.3	-0.09	<減 少> 電気代	7か月連続の実質減少
家具・家事用品	9,266	-11.1	-14.4	-0.52	<減 少> 家庭用耐久財, 家事サービスなど	7か月連続の実質減少
被 服 及 び 履 物	11,988	-4.0	-6.9	-0.29	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	2か月連続の実質減少
保 健 医 療	14,009	10.2	8.8	0.39	<増 加> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具	7か月ぶりの実質増加
交 通 ・ 通 信	43,895	-1.6	-4.7	-0.72	<減 少> 自動車等関係費, 交通	2か月ぶりの実質減少
教 育	14,564	-0.4	-2.5	-0.13	<減 少> 授業料など	3か月連続の実質減少
教 養 娛 楽	27,769	-1.3	-5.6	-0.55	<減 少> 教養娯楽サービスなど	7か月連続の実質減少
その他の消費支出	59,190	-0.9	(-4.2)	(-0.85)	<減 少> 交際費, こづかい	12か月連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	247,246	1.3	-2.0	-		7か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

設備修繕・維持	[-0.89]	設備器具, 給排水関係工事費
交際費	[-0.85]	贈与金
自動車等関係費	[-0.66]	自動車購入, ガソリン
家庭用耐久財	[-0.45]	電気冷蔵庫, エアコンディショナ
教養娯楽サービス	[-0.38]	国内パック旅行費, ゴルフプレー料金
電気代	[-0.21]		
洋服	[-0.21]	背広服, 男子用コート

< 増加項目 >

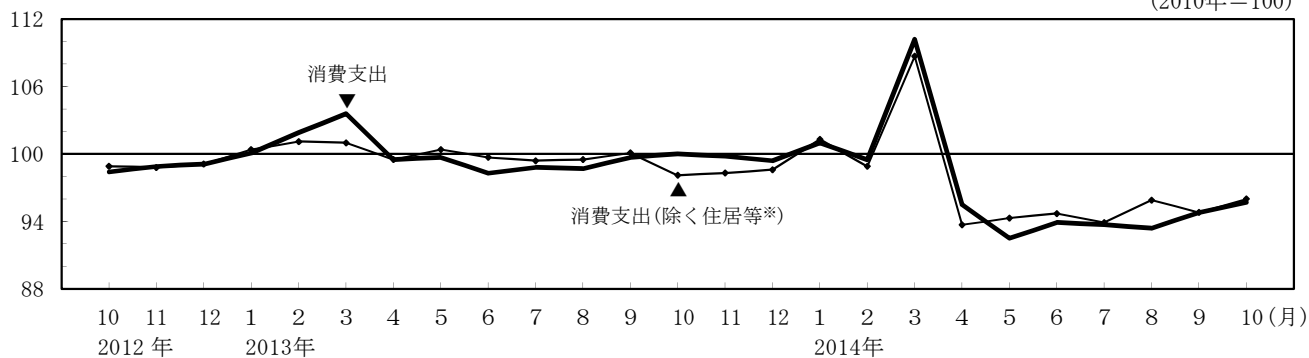
諸雑費	[0.34]	婚礼関係費, 葬儀関係費
保健医療サービス	[0.28]	歯科診療代, 内科診療代

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2013年			2014年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
消費支出	100.0	99.8	99.4	101.0	99.5	110.2	95.5	92.5	93.9	93.7	93.4	94.8	95.7
対前月変化率(%)	0.3	-0.2	-0.4	1.6	-1.5	10.8	-13.3	-3.1	1.5	-0.2	-0.3	1.5	0.9
消費支出(除く住居等※)	98.1	98.3	98.6	101.3	98.9	108.7	93.7	94.3	94.7	93.9	95.9	94.8	96.0
対前月変化率(%)	-2.0	0.2	0.3	2.7	-2.4	9.9	-13.8	0.6	0.4	-0.8	2.1	-1.1	1.3

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2014年10月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	488,273	1.2	-2.1	—	13か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	360,177	1.3	-2.0	-1.52	8か月連続の実質減少
定 期 収 入	354,259	1.0	-2.3	-1.71	9か月連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	52,721	0.2	-3.1	-0.34	15か月連続の実質減少
他 の 世 帯 員 収 入	7,466	-13.8	-16.6	-0.30	12か月連続の実質減少
非 消 費 支 出	83,591	2.5	—	—	4か月ぶりの増加
可 処 分 所 得	404,682	0.9	-2.4	—	15か月連続の実質減少
消 費 支 出	316,154	-0.1	-3.4	—	7か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	78.1	(前年同月) (ポイント差)		-0.8	季節調整値でみると、74.2%で、前月に比べ、1.3ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。